

## 空き家を活用した観光まちづくり

観光産業の環境への負荷は増加している。SDGs やサステナブルツーリズムの観点から空き家が活用できるのではないかと考えた。そこで点在している空き家を活用することによって住環境へ配慮でき、既存のものを活かした観光まちづくりができるのではないかとという仮説を立てた。

矢掛町と東京都の空き家活用事例を考察した。矢掛町では、観光振興目的に補助金が助成されており、空き家を飲食店や宿泊施設、お土産屋、地域住民が集えるものに活用していた。東京都の行政による空き家活用事例では、世田谷区を代表事例に挙げた。空き家で地域貢献ができるものに補助金が助成されており、世代別人口比率と空き家活用事例を考察した。現役向けの空き家活用事例が最も多かったが、世代別人口比率で見ると、まだ相対的に少ないといえた。子ども向けの空き家活用事例は実態を超して活用されているといえた。高齢者向けの空き家活用事例は、需要と供給が一致しているといえた。民間の空き家活用事例についても考察した。地域性、内装・外装、再建築不可物件の条件があることで空き家を既存のものとして活かすことが成立すると考えた。

矢掛町、東京都の空き家活用事例ともに、空き家を活用したことで町並みや空き家の崩壊を防ぐこと、空き家周辺の雑草がなくなる等の地域住民の住環境に配慮できていた。そして、点在している空き家を活用することによって住環境へ配慮でき、既存のものを活かした観光まちづくりができることが明らかになった。